

發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 常陸毎日新聞社

東京新報

刊夕日五十二月三

郵税五厘 印刷費五厘 送料五厘 電話掛金五厘 郵便掛金五厘 印刷所 常陸毎日新聞社

牛 晝食は牛
屋 夕食は鳥

石川亭

番三四シモシモ

五百足限り
靴特價大賣出し

福島屋靴店
田町一丁目(舊郡役所通り)

家賃店棚 獨特の新製品
格安もの豊富に
取揃へて
ありませう

力鈴木勝丸商店
平町所

福島縣平町
鹽屋山崎本店
電話長二二七番
振替東京一九七五番
上野東車坂町四三

東京支店

電話長淺草五七二八番
振替東京六八三一二番

常盤論壇
商工智識の向上
長橋野人

平地方の商店の經營が東京關西方面の同等程度の都會のそれに比して、甚だしく遜色ある事は、われ等の大いに遺憾とする所である、而も從來當業者が、好んで古陋なる店是を宜しきとし、少しく新規の計畫をなすものあれば、直に之を山師として痛罵するが如き憐れむべき誤りに陥つて來たのである

愈々入學の期が迫りました

先づ御用意の第一として
一學生カバン
男子用 五十五錢位
女子用 ヨリ三圓位
マデ

一學生帽
慶應形 其他種々
ルビ形 其他種々

澤山取揃へました
ツルヤ商店
電一四〇

御支度
小島屋
式一具道小
通所役郡町田

松村病院
平町電話一〇七番

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科

高久病院
平町電話五二三番

内科・外科・耳鼻咽喉科

有力なる忠告者であつた彼等は自ら自己の古陋なる經營の否を悟り昨今非常に智識的に其の營業を向上せしむる氣になつた事は一つの進歩と云はねばならぬ

當地の將來を思ふものは何人とも天與の重大なる點から、決して從來の如き安逸を許容する事は出來ない當業者の智的向上を一層必要とする事は、自明の理である、個人商店なるが故に何等の智識的施設を必要としないとか、乃至は學問あるものは商人として不適であるとか云ふが如き愚昧な態度では商工業の發達は容易

社員招聘
最も權威ある業務にして
外交的手腕を有する士を望む
月收百圓内外
……委細面談……

東恒産株式會社
平郡役所通り

坊チヤン嬢チヤン方の
新入學期が参りました
カバン (男女) 各五十錢以上
御用意は!

山家メリヤス店
平町一丁目

赤心堂病院
平町電話四七五番

内科・外科・花柳病科
耳鼻咽喉科・婦人科

高久病院
平町電話五二三番

内科・外科・耳鼻咽喉科

松村病院
平町電話一〇七番

内科・外科・耳鼻咽喉科
花柳病科

遠藤パン
有聲座隣

喰べて
にこい

新入學生や進級生の洋服は……
通學や運動に便利な洋服體の健康と一家の經濟を計る洋服は平二丁目な洋服店のレデーメイド學生服です上等黒小倉上三圓八十錢下三圓八十錢上七圓下七圓各法各種豊富
尙台服は目下製造中 (電二〇三)



大越中佐の銅像 建設に寄附の爲め 一大演奏會の催し

來月五日平陽校にて

日露の戦役に於て名譽の戦死をなした陸軍部内の軍神として橋中佐と並び稱せられ永くその名を竹帛に垂れたる石城郡内郷村出身大越中佐の偉勳に對しては曩に元警中校長植竹源太郎氏等大越中佐顯彰會なるものを設け平町

附近の 適地を卜し
中佐の銅像を建設し以て英名を後世に傳ふべく各方面の有志より寄附募集中の處適々先年の關東の大震災に遭過し醜金その他に關して計劃の進行を阻まれて居つ

明日は初酉で 梅林に風流客

明日は初酉であるが惡路の爲めに公園の人足が幾分出溢つたであらうしかし松ヶ岡公園南崖の梅林も満開の事とて瓢を下げた風流客がテラホラ樹間に杖をひく姿も春めいて見受けられるであらう

本年末 頃迄に寄附

を取纏の起工すべき計劃である爲め東京震災後平町に寄留中の山田流琴曲界第一流の大家上原眞佐喜氏は都

常磐片々

平署で昨日捕へた窃盜犯の贓品刑事部屋に山を築く、捕へたのはお手柄だが山を築く迄盗ませて置いたのはどうしたものか

行政整理で笠の臺が飛んだ佐藤元稅務署庶務課長が平町の助役に就任するらし、捨てる神があれば助ける佛もある

石城地方が景氣好しの噂を聞いて無斷で家を飛び出して來た男がある、サテは當地方よりモット景氣の悪い處があるのか、悲觀する

山流尺八の開祖として有名な中尾郡山氏と協議の結果此際大演奏會を開いて其の**収益を 銅像建設費**に寄附せんと來月五日零時半から午後六時からとの二回に亘り寄附演奏會を開く事となつたが上原氏は平町寄留中の淳子嬢の外に東京から清水良純嬢をも招致し又中尾氏は其の高弟なる倉川肅山氏を東京から伴ひ來て演奏さるゝ筈である

井上縣議 農相に陳情

縣會議員井上茂作氏は内郷村礦毒問題解決に關し高橋農相に陳情し種々善後策を構せんが爲め本日午後一時四十分にて上京した

歡待を協議 小名濱町にて

石城柳小名濱町にては來月五日寄港する驅逐艦四隻の乗組員を歡待すべき方法に關し近く協議會を開く由

大森氏勇退 中通りに譲る

本縣副團長を
既報本縣聯合青年團代議員

に及ばず

明日は初酉公園南崖の梅正に満開、行樂氣分を咬らるゝもの豈たゞ風流の人のみならんや

平町の 架設電話は 本年四五十月

平町に於ける十四年度の寄附架設電話は近く豫算に基き架設方針の確立さるゝと共に割當口數及架設費等大体判明すべく想像されて居るが十四年度は震災直後の前年に比しはるかに其數を増加するものゝ如く小松同

會は昨日午前十時から縣廳大廣間にて開會、鐘江副團長座長席に着き議事に入り大正十四年度の歳入出豫算五千二百七十七圓七十錢及び諮問案を附議し終つて來月十九日平町に開かれる縣聯合青年團總會席に行はるゝ團長及び副團長の改選

平町役場助役は 佐藤要四郎氏らし

もご平稅務署の庶務主任
廿日の町會に推薦か?

未だ定らぬ平町役場の助役に就いては種々の下馬評あつて人もあらうに新田目辯護士だ等とのトテツもない當て推薦さへ噂さるゝに至つたが確かな筋から仄開する處に依れば先般の行政整理で官途を退いた元平稅務署庶務課長佐藤要四郎氏に白羽の矢が立ち來る卅日には町會を開いて推薦さるゝ事になつて居ると傳へられて居る

石城炭田 調査 技術者が出張

農商務省から

石城郡における炭礦事業は今後漸次海岸方面に向つて伸展の兆ある旨既報の如くであるがその筋に於ても最近石城炭田の極めて有望なるに着眼したるものゝ如く農商務省地質調査所にては過般來技師紺野芳松氏を同郡に出張せしめ某々方面の廣汎なる區域に涉り詳細踏査中の處昨廿四日一先づ歸應來月上旬再び來郡調査を從つて、ますゝ多量の排泄物母体の血行中に排出されますから、この時若し母体の榮養組織や、排泄作用等に故障がありますと、母子兩者の排せつ物が完全に排出しきれない結果になりますので、母体と胎兒の健康上にかなりな危険をかますことがあるもので



妊娠中の婦人へ(上)

胎兒は日がつにつれて、だん／＼成長いたしますに

局長の希望としては五十か

少くとも四十位を増設しよ

軍艦便乗打合 伏見

平町長は本日午後二時郡衙に水野郡長を訪ね小名濱寄港の驅逐艦に平青年團便乗に關し種々打合せする處があつた

打瀬漁好況 千三百圓漁獲

石城郡小名濱に於ける打瀬

續行すること右調査の終了と共に石城炭田の内容實質等は詳細判明することと想像さる

景氣の好い話 石城地方が 聞いて家出

埼玉縣北埼玉郡新郷村農原口寅吉四男新次郎(三)は石城地方が割合に景氣の好い話を聞き去る十八日午後五時頃無斷家出したとて平署に實父から搜索願出た

品物山を築く 窃盜犯捕る

安達郡二本松町大字松岡無職齋藤倉藏(三)は去月以降石城郡内郷村や湯本町等に於て十數ヶ所に亘り窃盜を働き昨日内郷村宮地内徘徊中午後七時頃遠藤駐在巡查に逮捕されたが同人は窃盜前科數犯を有し品物山の如くある由

あります、これをトキシミヤ毒血症といひますその徴候は次のやうです、一強い熱のやうなはき氣、二頭痛の續發、三日まひ、四顔や手の淨はれ、五視覚が滅び衰へるか、又は眼の前に黒點が見えたり、六みづおちの痛、七筋肉のけいれん等であります。

募集

院の曹洞宗の各寺院が主催となつて大本山鶴見總持寺の常濟大師六百回忌法會に參列すべき團體募集中である

平町人事

△白根町五 戸田強氏長女美代子
△南町六七 大谷未治氏五女ミチ
△南町四八 大河原孝貞氏長男節太郎

△立町五 柳沼ハツコ(八つ)